

花をみる、
鳥を描く

大矢峻嶺 展

伊深町出身の日本画家・大矢峻嶺^{しゅんれい} (1892～1967年)。精緻な写生^{せいし}を基とした穏やかな画風は、今も岐阜の人々に愛され続けています。

この地域に残された数々の絵画や資料などを展示し、画業の軌跡をたどります。

◇とき 2月3日(土)～
3月18日(日)

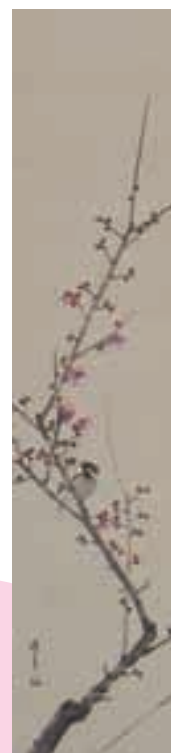
◇ところ みのかも文化の森

◇観覧料 一般 300円(150円)
高校生以下 無料

()内は20人以上の団体、かるちすくらぶ会員の料金



「雀図」
伊深小学校蔵



「紅梅図」
美濃加茂市民
ミュージアム蔵

みのかも文化の森 28・1110

関連イベント

■ミュージアムフォーラム

●大矢峻嶺氏の事—京都の日本画—

大矢峻嶺の作品や、京都と東京の日本画の差異についてお話いただきます。

◇とき 2月10日(土)
午後2時～3時30分

◇講師 京都市立芸術大学名誉教授
榊原吉郎さん

◇定員 120人(先着順)

◇参加料 無料

■関連講座

●岩彩でぬり絵

日本画の顔料である岩絵具^{いぶき}や膠^{にかわ}を使ってぬり絵をします。

◇とき 2月18日(日)
午前10時～午後4時

◇講師 ナカシマヒロエさん(日本画家)

◇定員 15人

◇参加料 1,000円

◇申込み 1月16日(火)から30日(火)までに、
直接またははがき(必着)〔〒505-0004 蜂屋
町上蜂屋3299-1〕でみのかも文化の森へ

※申し込み多数の場合は抽選となります

※タオル、昼食をお持ちください

■ミュージアムトーク

◇とき 2月4日(日)・3月10日(土)

①午前11時～正午 ②午後2時～3時

※企画展観覧料が必要です